



DNW-18008 の概要

課題番号 : DNW-18008

課題名 : 相同組換え機構に異常のあるがんに対する新規抗がん剤の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

足立 典隆 (公立大学法人横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科)

課題番号 DNW-18008 では、酵素 X を標的として、新たな抗がん剤の創製に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

相同組換えと合成致死の関係にある酵素 X を阻害することにより、相同組換え機構に異常のあるがんに対してより効果的で副作用の少ない抗がん作用が期待される。
- ターゲットプロダクトプロファイル :

相同組換え機構に異常があり、有効な分子標的薬のない難治性がんに対する経口投与可能な低分子薬剤。
- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI らにより報告されている。

 - 1) 酵素 X は様々な種類のがんで高発現しており、がんの悪性度、予後と高い相関がある。
 - 2) 相同組換え機構に異常のある細胞は、酵素 X を失うと致死となる。
- 創薬に向けたアプローチ :
 - 1) 酵素 X を阻害する低分子化合物を phenotypic assay 系を用いてスクリーニングする。
 - 2) 得られた低分子化合物の *in vitro* 及び *in vivo* 高次評価を行い、副作用が少なく、PARP 阻害剤耐性がんにも有効であること等を検証する。

- 最終目標：
酵素 X の阻害作用を有する化合物を取得し、その有用性を確認する。

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。